平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月29日

上場会社名　ソーダニッカ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8158　URL　http://www.sodanikka.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 長洲 崇彦
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理副本部長　(氏名) 大村 昭　TEL 03-3245-1803

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	70,426	△3.4	985	△15.5	1,104	△14.1	520	△23.8
24年3月期第3四半期	72,872	△3.6	1,166	△21.3	1,286	△18.1	682	△9.0

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　436百万円　(99.9%)　24年3月期第3四半期　218百万円　(△57.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	20.84	―
24年3月期第3四半期	27.35	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	53,039	16,181	30.5
24年3月期	53,510	16,101	30.1

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　16,181百万円　24年3月期　16,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	6.00	―	7.00	13.00
25年3月期	―	6.50	―		
25年3月期(予想)				6.50	13.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	△0.5	1,350	6.0	1,450	5.2	720	0.5	28.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」 第10条の5に該当するものであります。詳細は四半期決算短信(添付資料)3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	25,168,000 株	24年3月期	25,168,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	210,971 株	24年3月期	203,706 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	24,960,508 株	24年3月期3Q	24,969,571 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.当四半期決算に関する定性的情報…… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3

2.サマリー情報(注記事項)に関する事項…… 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3

3.四半期連結財務諸表…… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
(3) 継続企業の前提に関する注記 …… 8
(4) セグメント情報等 …… 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要もあり、緩やかな回復の兆しがみられましたものの、欧州債務危機を背景にした円高・株安の影響や中国向け輸出の減速等も加わり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループに関係の深い化学工業界につきましては、円高や海外経済の減速のあおりを受け輸出が伸び悩み、全般的に稼働率が上がらないなど、総じて厳しい事業環境となりました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、化学品と機能材の二事業を基軸とする経営を推進するとともに、中国をはじめとする海外取引の拡大と再生可能エネルギー関連資材の販売等、環境関連ビジネスの強化に努めてまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高704億２千６百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益９億８千５百万円（同15.5%減）、経常利益11億４百万円（同14.1%減）、四半期純利益５億２千万円（同23.8%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

【化学品事業】

無機薬品につきましては、主力商品のか性ソーダは市況の回復があり増収となりました。重炭酸ソーダは用途拡大により増収となりました。また、過酸化水素は供給体制が安定したことと拡販により増収となりました。電池用マンガン化合物、洗剤用途のソーダ灰及び製紙向け炭酸カルシウムは需要の減少により減収となりました。

有機薬品につきましては、メタノール及び高分子凝集剤は増収となりましたが、製紙用ラテックス、建築材料用のシリコーン及びエポキシ樹脂原料は減収となりました。

この結果、化学品事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ3.3%減の508億８百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ1.0%減の17億１千５百万円となりました。

【機能材事業】

合成樹脂につきましては､ポリエチレン樹脂は増収となりましたが､フッ素樹脂は減収となりました。また、フィルム類につきましては、複合フィルムは増収となりましたが、ポリエチレンフィルム、ポリプロピレンフィルム、及びポリエステルフィルムは需要が振るわず減収となりました。

機器類につきましては、太陽光発電パネル等の電気関連機器は増収となりましたが、排水処理装置、包装関連機器及び排ガス処理装置は減収となりました。

その他の資材につきましては、飛灰処理用キレート剤は震災の復興需要もあり増収となりましたが、グラウト材料は減収となりました。

この結果、機能材事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ5.2%減の188億７千９百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ31.7%減の３億４千３百万円となりました。

【その他事業】

その他事業につきましては、連結子会社の曹達日化商貿(上海)有限公司の増収などにより、売上高は前年同期に比べ71.7%増の７億３千７百万円、セグメント利益（営業利益）は平成24年６月にカネセイ産業株式会社を連結子会社としたことに伴い発生した費用等により、前年同期に比べ59.6%減の９百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

【財政状態の分析】

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ4億7千万円減少いたしました。

増減の主なものは資産の部では、現金及び預金が14億7千4百万円増加し、受取手形及び売掛金が11億7千2百万円、流動資産の「その他」に含まれている前渡金が3億円、投資有価証券が2億8千6百万円それぞれ減少いたしました。負債の部では、支払手形及び買掛金が3億4千9百万円、未払法人税等が1億3千7百万円それぞれ減少いたしました。純資産の部では利益剰余金が1億6千5百万円増加し、その他有価証券評価差額金が9千6百万円減少しております。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の日本経済の見通しにつきましては、株価の上昇や為替の円安傾向などにより、景気は好転するものと期待されますが、依然として、欧州や中国などの景気回復が鈍いことにより、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような事業環境の中で、当社グループは引き続き化学品と機能材の二事業を基軸とする経営を推進するとともに、財務体質の強化と経営の効率化を図り、収益の改善に向けて全社一丸となって邁進する所存でございます。

平成25年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年11月2日付公表の数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法（200%定率法）に変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,126	5,601
受取手形及び売掛金	35,318	34,146
商品及び製品	5,130	5,146
繰延税金資産	118	50
その他	662	221
貸倒引当金	△99	△76
流動資産合計	45,257	45,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	408	404
土地	1,083	1,076
その他（純額）	74	78
有形固定資産合計	1,566	1,558
無形固定資産	261	235
投資その他の資産		
投資有価証券	5,636	5,349
長期貸付金	57	52
その他	917	935
貸倒引当金	△187	△184
投資その他の資産合計	6,425	6,154
固定資産合計	8,252	7,948
資産合計	53,510	53,039

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,818	27,469
短期借入金	7,000	7,000
未払法人税等	208	70
賞与引当金	220	115
役員賞与引当金	38	28
その他	761	807
流動負債合計	36,046	35,490
固定負債		
繰延税金負債	26	－
再評価に係る繰延税金負債	245	245
退職給付引当金	535	532
長期未払金	24	－
その他	530	589
固定負債合計	1,362	1,367
負債合計	37,408	36,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,762	3,762
資本剰余金	3,130	3,130
利益剰余金	8,514	8,679
自己株式	△54	△57
株主資本合計	15,351	15,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	640	543
繰延ヘッジ損益	0	16
土地再評価差額金	133	150
為替換算調整勘定	△24	△44
その他の包括利益累計額合計	749	666
純資産合計	16,101	16,181
負債純資産合計	53,510	53,039

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	72,872	70,426
売上原価	68,183	65,758
売上総利益	4,689	4,668
販売費及び一般管理費	3,522	3,682
営業利益	1,166	985
営業外収益		
受取利息及び配当金	136	139
その他	46	56
営業外収益合計	183	196
営業外費用		
支払利息	45	59
売上割引	7	7
その他	10	9
営業外費用合計	63	77
経常利益	1,286	1,104
特別利益		
固定資産売却益	1	－
災害損失引当金戻入額	18	－
移転補償金	－	16
特別利益合計	19	16
特別損失		
固定資産除売却損	14	－
投資有価証券評価損	37	168
出資金評価損	5	－
事務所移転費用	－	6
特別損失合計	57	175
税金等調整前四半期純利益	1,248	945
法人税、住民税及び事業税	438	366
法人税等調整額	127	58
法人税等合計	565	425
少数株主損益調整前四半期純利益	682	520
少数株主利益	－	－
四半期純利益	682	520

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	682	520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△489	△96
繰延ヘッジ損益	△5	15
土地再評価差額金	34	17
為替換算調整勘定	△2	△20
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△464	△83
四半期包括利益	218	436
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	218	436
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自　平成24年4月1日　至　平成24年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第3四半期連結累計期間（自　平成23年4月1日　至　平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	化学品事業	機能材事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	52,522	19,919	429	72,872	―	72,872
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	21	21	△ 21	―
計	52,522	19,919	451	72,893	△ 21	72,872
セグメント利益	1,731	502	23	2,258	△ 1,091	1,166

（注）1.セグメント利益の調整額△1,091百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第3四半期連結累計期間（自　平成24年4月1日　至　平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	化学品事業	機能材事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	50,808	18,879	737	70,426	―	70,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	309	309	△ 309	―
計	50,808	18,879	1,047	70,735	△ 309	70,426
セグメント利益	1,715	343	9	2,068	△ 1,082	985

（注）1.セグメント利益の調整額△1,082百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自　平成24年4月1日　至　平成24年12月31日）

該当事項はありません。